

社場たより



キモダフ

令和3年7月号

社会福祉法人
喜茂別町社会福祉協議会

〒044-0201
虻田郡喜茂別町字喜茂別15番地の1
電話 (0136) 33-3024
IP 電話 33-3024



喜茂別町花いっぱい運動の一環として、ふれあい福祉センターの花植えを喜茂別町市街地区福寿会のみなさんが行ってくれました。新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、役員のみの少人数で実施し、マスク着用や距離を保って行われました。昨年は止む無く中止した花壇でしたが、今年はきれいに咲き誇っています。新型コロナの終息とふれあい福祉センターの利用再開を願うばかりです。

善意に感謝します

後志建設工業株式会社(代表取締役社長 本久公洋)様から、
高齢者の安全な歩行手助けとなる歩行車の寄贈がありました。
大切に使わせていただきます。



北海道信用金庫ひまわり財団様より福祉助成金をいただきました

令和2年12月、北海道信用金庫ひまわり財団様より福祉助成金として10万円を贈呈していただきました。福祉事業推進の為、大切に使わせていただきます。ありがとうございました。



この広報は共同募金の配分金で作成しています。

共同募金

喜茂別町においては、今後の福祉改革の基本コンセプトである「地域共生社会」の実現に必要な支援を包括的に提供する体制の整備を進めていきますが、国においては、より複合化・複雑化する支援ニーズへの対応が求められています。

こうした中、社会福祉協議会においてはこれまで住民主体による地域福祉活動支援や、様々な生活支援サービス等に取り組んできていることから包括的な支援体制の中核的な役割を担うものと期待されています。

さらに、社会福祉協議会の特性を活かした総合的・横断的な展開ができるような組織体制づくりや、あらゆる生活課題への解決力を高め、社会福祉協議会の存在意義を積極的に発信し、重層的に連携・協働をし、地域共生社会を推進していくことが求められています。

こうした情勢を踏まえ、令和3年度も引き続き「地域の絆でつながる笑顔、広げよう安心の町、きもちべつ」を目指し、地域福祉を支える属性や世代を問わず、相談を受け止める「地域福祉を支える『断らない相談支援』」をはじめ、地域におけるネットワークや制度を活用した「支え合いの『社会参加に向けた支援』」、地域を丸ごと巻き込み、地域住民が主体的に参加する「暮らしやすい『地域づくり』」といった3つの柱の下、各種事業を展開し、本人と支援者・地域住民の関係性が、喜茂別町による「縦のネット」社会福祉協議会による「横のネット」により強固な「セーフティーネット」の整備が重要であります。



日常生活自立支援・生活福祉資金・愛情資金

1 基本方針

喜茂別町においては、今後の福祉改革の基本コンセプトである「地域共生社会」の実現に必要な支援を包括的に提供する体制の整備を進めていきますが、国においては、より複合化・複雑化する支援ニーズへの対応が求められています。

こうした中、社会福祉協議会においてはこれまで住民主体による地域福祉活動支援や、様々な生活支援サービス等に取り組んできていることから包括的な支援体制の中核的な役割を担うものと期待されています。

さらに、社会福祉協議会の特性を活かした総合的・横断的な展開ができるような組織体制づくりや、あらゆる生活課題への解決力を高め、社会福祉協議会の存在意義を積極的に発信し、重層的に連携・協働をし、地域共生社会を推進していくことが求められています。

こうした情勢を踏まえ、令和3年度も引き続き「地域の絆でつながる笑顔、広げよう安心の町、きもちべつ」を目指し、地域福祉を支える属性や世代を問わず、相談を受け止める「地域福祉を支える『断らない相談支援』」をはじめ、地域におけるネットワークや制度を活用した「支え合いの『社会参加に向けた支援』」、地域を丸ごと巻き込み、地域住民が主体的に参加する「暮らしやすい『地域づくり』」といった3つの柱の下、各種事業を展開し、本人と支援者・地域住民の関係性が、喜茂別町による「縦のネット」社会福祉協議会による「横のネット」により強固な「セーフティーネット」の整備が重要であります。

このような考え方に基づき社会福祉協議会では、地域の方々を始め町行政並びに議会の協力をいただきながら関係機関、団体と連携のもと、福祉事業の継続と充実を図ってまいります。

令和3年度 喜茂別町社会福祉協議会事業計画

令和3年度 事業推進について

1 断らない相談支援

介護・障害・子ども・困窮等の相談支援に係る事業を一体化として実施し、本人・世帯の属性にかかわらず受け止める、相談支援の実施。

電話見守り・訪問・安心カード設置等、住民一人ずつ、福祉課題の明確化及び住民活動の推進を図る。為、福祉活動専門員機能を強化したコーディネート活動を、行政・関係機関と共に実行し、我が事、丸ごとの地域づくりに向け、社協のソーシャルワーカー機能の強化を図ることとともに、社協が担う役割を整理し、相談支援体制の構築を進める。

2 社会参加に向けた支援

在宅生活を送る上で必要となる経済基盤の安定化、分野をまたいだ横断的な相談支援や生活福祉資金の推進等、公益活動の強化を図る。

相談支援と一体的に実行する、就労支援、居住支援、居場所機能の提供など、多様な社会参加に向けた支援の実施。

貸付・権利擁護・歩行杖貸与等、日常生活の心配事、困り事の相談を受けながら、福祉サービス利用手続きや、在宅生活を送る上で、必要となる経済面でのサポートをしながら、共助活動の一環として取り組みを行う。

3 地域づくりに向けた支援

アウトリーチを徹底し、対象や地域特性に応じた切り口で、地域住民等の地域コミュニティへの参加環境づくりを図る。

地域において多様なつながりが育つことを支援するために、住民同士が出合い参加することの出来る場や居場所の確保に向けた支援、ケアし支え合う関係性を広げ、交流・参加・学びの機会を生み出すコーディネート機能を合わせた事業を実施。

普及啓発・サロン交流・福祉教育・広報活動・ボランティア育成等、相互理解を深めるための研修会・講習会・イベント活動、地域の居場所づくりを推進し、住み慣れた生活圏内における活動の推進を図るとともに、子どものうちに、子どもたちから、福祉を身近なものとして捉えるような活動や、ボランティアの育成にも力を入れ、情報発信と啓蒙を行なう。



2 重点事業計画

◇子育て支援拠点事業(子育て支援セミナー)

- ①子育て親子の交流の場の提供と交流促進
②子育てに関する相談・援助の実施
③地域子育て関連情報の提供
④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施
※週3回、子育て支援センター(笑みくな)において運営する。

◇地域福祉事業

福祉のまちづくりを推進するには地域の思いやりと連帯感が地域を支える力となりますので、生活に密着した運動の展開とサービスの充実を行います。

- ◇在宅福祉事業**
- ①高齢者や障がい者が介護を要する状態になつてもできる限り住み慣れた地域や家庭で自立した生活が営めるよう事業の充実を図ります。
- ②電話見守りサービス
- 町における主要な介護サービスとしての通所介護事業を引き続き町から委託を受け運営にあたります。
- ③一人暮らしの高齢者への安否確認など、IP

◇介護予防事業(通所A・一般介護予防事業)

高齢者が老後に願うこととして、①老後に手厚い介護を望んでいるわけではない。②年をとつても自分のことは自分でやり、自由気ままに暮らしたい。これら二つから老後の願いは自立することであり、自立を継続させる支援として介護予防事業を行います。これまでの実績からそれぞれの地域において利用登録者の増加と関心の高まりが見られますので、サービス体制の強化を行うこととし、加えて予防プログラムを充実することでの生活機能の維持向上による自立の継続を促すため、一般高齢者に対する運動機能向上、口腔機能の向上、栄養改善を柱とする通所型の介護予防事業を町と協働により実施します。

電話で顔の見える訪問活動を行います。

- ④デイサービス事業の充実
- 町における主要な介護サービスとしての通所介護事業を引き続き町から委託を受け運営にあたります。
- ⑤高齢者の健康と生きがいづくり
- 高齢化が進む中で、いつまでも健康で地域で暮らせるよう、老人クラブ育成支援、社会奉仕活動支援を行います。
- ⑥福祉権利擁護事業への支援
- 知的な障がい、精神的な障がいなどを持つ方に対し、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理などの援助により在宅での自立を可能にするための支援を行います。

…令和3年度 喜茂別町社会福祉協議会予算書…

(単位:円)

| 収入内訳 | | | 支出内訳 | | |
|-------------------------|------------|------------|-------------------------|------------|------------|
| 科 目 | 本年度予算 | 前年度予算 | 科 目 | 本年度予算 | 前年度予算 |
| 会 費 収 入 | 700,000 | 700,000 | 人 件 費 支 出 | 46,276,895 | 45,530,536 |
| 寄 附 金 収 入 | 500,000 | 500,000 | 事 業 費 支 出 | 6,356,000 | 5,874,000 |
| 経 常 経 費 補 助 金 収 入 | 12,770,000 | 12,620,000 | 事 務 費 支 出 | 1,480,000 | 2,810,000 |
| 受 託 金 収 入 | 40,944,000 | 41,200,000 | 貸 付 事 業 支 出 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 貸 付 事 業 収 入 | 1,000,000 | 1,000,000 | 共 同 募 金 配 分 金 支 出 | 587,498 | 600,000 |
| 受 取 利 息 配 当 金 収 入 | 5,000 | 4,000 | 負 担 金 支 出 | 419,353 | 400,000 |
| そ の 他 の 収 入 | 887,498 | 700,000 | 積 立 資 産 支 出 | 0 | 500,000 |
| サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 収 入 | 1,067,484 | 1,250,000 | サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 支 出 | 1,067,484 | 1,250,000 |
| 前 期 末 支 払 資 金 残 高 | 1,178,600 | 1,028,600 | そ の 他 の 支 出 | 842,800 | 0 |
| | | | 予 備 費 支 出 | 150,000 | 150,000 |
| 收 入 合 計 | 59,052,582 | 59,002,600 | 支 出 合 計 | 58,180,030 | 58,114,536 |

令和2年度 赤い羽根共同募金

大口募金 1,000円
29戸 29,000円

大 横 楽 商 店
八 宮 重 横 美 粧 院
宍 戸 天 直 勝 利
行 澤 下 山 藤 嵐 正
佐 五十 本 松 重 村 植 高 吉
松 木 田 本 木 田 木 田 木 田
重 木 田 本 木 田 木 田 木 田
村 木 田 本 木 田 木 田 木 田
植 木 田 本 木 田 木 田 木 田
高 木 田 本 木 田 木 田 木 田
吉 木 田 本 木 田 木 田 木 田
桃 木 田 本 木 田 木 田 木 田
今 木 田 本 木 田 木 田 木 田
栄 木 田 本 木 田 木 田 木 田
大 木 田 本 木 田 木 田 木 田
東 木 田 本 木 田 木 田 木 田
佐 木 田 本 木 田 木 田 木 田
中 木 田 本 木 田 木 田 木 田
大 木 田 本 木 田 木 田 木 田

大口募金 2,000円
32戸 64,000円

(有) 伏 見 青 果 店
千 松 田 畜 産 (有)
阿 牧 部 美 代 子
牧 味 場 タ 力
岩 菊 の 三 喜 一
菊 佐 池 庚 良 雄
佐 筏 藤 達 雄
木 增 藤 岡 一
木 佐 藤 村 美 郎
木 佐 筏 内 紀 富
木 佐 菊 地 吉 史
木 佐 林 河 人 一
木 佐 小 菅 修 広
木 佐 秋 丸 康 勉
木 佐 大 木 真 郎
木 佐 菊 酒 元 晃
木 佐 林 木 雄 真
木 佐 山 满 忠 株
木 佐 藤 北 海 道
木 佐 藤 川 海 道
木 佐 真 作 人 瞳

(株) 二チモク林産北海道
鷹 羽 保 夫

大口募金 3,000円
23戸 69,000円

北海道エネルギー㈱喜茂別中央
藤 田 菓 子 舗
増 田 ド ライブ イン
(有) ワ ー ル ド 交 通
梅 津 ク リ ー ニ ン グ 店
三 幸 食 堂
三 喜 茂 別 齢 病
越 細 輪 菅 齢 病
後 田 島 原 島 本 井
田 島 原 島 本 井
島 原 島 本 井 後
原 島 本 井 地 原
島 本 井 地 原 川 中
后 島 本 井 地 原 川 中
地 原 川 中 柳
后 島 本 井 地 原 川 中
原 川 中 柳
原 川 中 柳 嶋
后 島 本 井 地 原 川 中
地 原 川 中 柳 嶋

大口募金 10,000円
7戸 70,000円

後 志 建 設 工 業 (株)
菊 地 商 店 (株)
ク レ ー ド ル 興 農 (株)
JA よ う い 喜 茂 別 支 所
(有) 富 田 工 務 店
北 海 道 信 用 金 庫 喜 茂 別 支 店
(株) 日 野 浦 建 設

大口募金 5,000円
24戸 120,000円

内 村 里 美 業
(株) 北 海 建 工 会
喜 茂 別 町 商 工 会
喜 茂 別 自 動 車 工 業 (有)
梅 沢 設 备 工 業 (株)
愛 和 の 里 き も べ つ
(株) 羊 蹄 フ ラ ワ 一 機 (株)
三 下 表 木 谷 電 気
(有) 日 表 木 谷 電 気
ふ じ 歯 科 ク リ ニ っ ク
富 士 見 自 動 車 工 業
後 志 総 合 管 理 (有)
北 禅 寺
(株) 日 道 建 設 運 輸
喜 茂 別 北 自 運 輸 (有)
丸 協 建 設 林 業 (株)
(有) 堀 商 店
ロ ー ソ ン 喜 茂 別 店
池 田 正 宏 郎
伊 藤 喜 三 郎
喜 茂 別 神 社



鈴川小学校



喜茂別中学校



喜茂別小学校

その他

5件 74,834円

サッポロビール会 10,000円
株ビジネスサポート 5,000円
老人クラブ連合会 5,555円
手芸サークル 4,000円
ピンバッジ 34,809円
自販機売り上げ 15,470円

**赤い羽根合計
652,832円**

**歳末助け合い合計
137,400円**

学校募金

3校 14,891円

喜茂別小学校 3,663円
喜茂別中学校 7,000円
鈴川小学校 4,228円

窓口募金

10件 17,007円

喜茂別郵便局 701円
農村環境改善センター 1,081円
セブンイレブン喜茂別町店 2,388円
ローソン喜茂別店 608円
セイコーマート喜茂別店 546円
Aマート喜茂別店 2,399円
喜茂別町役場 137円
郷の駅ホッときもべつ 157円
喜茂別町立クリニック 1,500円
ふれあい福祉センター 7,490円

◆◆◆歳末支援金配分事業◆◆◆

| | | |
|--------------|-----|----------|
| 身体・知的・精神障がい者 | 12件 | 36,000円 |
| 老人単身世帯 | 58件 | 174,000円 |
| 母子・父子世帯 | 4件 | 12,000円 |
| 在宅介護世帯 | 1件 | 3,000円 |
| 地元福祉施設 | 2件 | 100,000円 |
| 合計 | 77件 | 325,000円 |

| | | |
|------|-----|---------|
| 幸町 1 | 10戸 | 3,000円 |
| 幸町 2 | 48戸 | 14,400円 |
| 末広町 | 80戸 | 24,000円 |
| 旭町 | 40戸 | 12,000円 |
| 本町 | 90戸 | 27,100円 |
| 大町 1 | 50戸 | 15,000円 |
| 大町 2 | 90戸 | 27,000円 |
| 緑町 | 56戸 | 16,800円 |
| 相川 | 7戸 | 2,100円 |
| 留産 | 9戸 | 2,700円 |
| 比羅岡 | 14戸 | 4,200円 |
| 伏見 | 17戸 | 5,100円 |
| 栄 | 9戸 | 2,700円 |
| 双葉 | 12戸 | 3,600円 |
| 上壮 | 10戸 | 3,000円 |
| 中里 | 10戸 | 3,000円 |
| 福里 | 9戸 | 2,700円 |
| 共栄 | 7戸 | 2,100円 |
| 鈴川 | 44戸 | 13,200円 |
| 御園 | 8戸 | 2,400円 |
| 上尻別 | 10戸 | 3,000円 |
| 尻別 | 12戸 | 3,600円 |
| 知来別 | 2戸 | 600円 |
| 福丘 | 3戸 | 900円 |

令和2年度赤い羽根共同募金配分金は**494,611円北海道共同募金会より配分され、**

●高齢者福祉活動

●歳末助け合い事業

●福祉育成・援助活動

●障がい者福祉活動

●母子・父子福祉活動

●児童福祉活動

に使われます。



新会長挨拶

喜茂別町社会福祉協議会

会長 岩佐 庚一

本年、6月の理事会において喜茂別町社会福祉協議会会長に選任されました。責任の重大さを感じ、身の引き締まる思いでいる次第でございます。

喜茂別町における人口件減少、少子高齢化そして新型コロナウィルス感染症によるあらゆる方面での影響が危惧され、社会福祉協議会が担う課題も多様化していると実感しております。我々役職員一同、時代に応じた事業等の推進に努力する所存でございますので、町民各位のご理解とご支援をお願い申し上げ、就任の挨拶といたします。

社会福祉協議会役員の改選がありました

**理事
(定員8名)**

岩佐 庚一 中野 忠義 山本 玲子 松井 孝司
細川 政明 吉見 啓一 堀 誠治 岩部 剛

社会福祉の事業資金として、次の方々からご寄付いただきました。温かい善意に心から感謝申し上げます。

| 年月日 | 寄付者ご芳名 | 金額 | 備考 |
|-----------|---------|--------|----------|
| 令和3年4月16日 | 金 幸子 様 | 30,000 | 福祉事業推進の為 |
| 令和3年6月 3日 | 片野 正春 様 | 50,000 | 福祉事業推進の為 |

社会福祉協議会の活動は 「皆様からの会費制度」で支えられています。

- 社会福祉協議会(社協)は、社会福祉法に基づき市町村ごとに設置され、地域の実情に応じた福祉を増進することを目的とした社会福祉法人の民間団体で、民間組織の自主性と、住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という二つの側面を持っています。
- 社協の運営資金は、住民のみなさんからの会費(一般会費、特別会費)や寄付金、共同募金会からの配分金などがあります。また、社協で実施する福祉サービスや各種事業に対し公共性という側面から、町からの補助金や事業受託金を受け、社協運営の財源となっています。
- 少子高齢化により、喜茂別町でも一人暮らしや支援が必要な高齢者などが増えていますが、支援を求める方々が安心して暮らせ、誰もが住み良い町にするための福祉活動に、会費を活用します。

ご理解とご協力をお願いいたします。

特別会員を随時募集しています。(一口 2,000 円から) | 詳細は、喜茂別町社会福祉協議会までお問い合わせください。